

科目名	ビューティー演習(専攻)							
科目名(英)								
単位数	6		時間数	90時間		担当者	木村 匡志	
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年							
授業概要	2年生後期に開催される模擬結婚式に向けて、ビューティー専攻として全体テーマに基づいた衣裳の選定やヘアアレンジ、メイクの練習を実施する。新郎新婦モデル・ヘアアレンジ・メイク・ネイルの決定及び準備を行う。							
授業形式	講義:		演習:	○		実習:		
			実技:			※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
						○ 模擬結婚式に相応しい新郎新婦モデルの選定ができる		
						○ 全体テーマに合わせた新郎新婦の衣裳及び衣裳小物の選定ができる		
		○	○			全体テーマに合わせたヘアアレンジを考案し、新婦モデルのヘアセットができるようになる		
		○	○			全体テーマに合わせたメイクを考案し、新婦モデルのメイクセットができるようになる		
	○	○			全体テーマに合わせたネイルを考案し、新婦モデルのネイルを作成することができる			
テキスト・教材 参考図書	なし							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め①						
	2	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め②						
	3	各チーム毎のスケジュール・準備内容の話し合い						
	4	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告①						
	5	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告②						
	6	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告③						
	7	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告④						
	8	学内リハーサル①						
	9	学内リハーサル② 学内リハーサルの反省点の共有と内容修正						
	10	本番会場でのリハーサル①						
	11	本番会場でのリハーサル② 反省点の共有と内容修正						
	12	前日会場準備及びリハーサル・最終調整						
	13	模擬結婚式本番						
	14	模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業						
15	模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成							
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)授業態度(担当業務の完成度)及び出席率以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート提出		○				70%	
	授業態度・出席率			○	○		30%	
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。							

科目名	プランナー演習(専攻)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、フラワー専攻として全体テーマに基づいた披露宴会場内のテーブルコーディネート、ブーケ、ブートニアのデザイン、作成を行う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		当日の会場装花、ブーケ作成までの計画をたてることができる	
	○	○		○		テーマに合ったテーブルコーディネートを考え必要な物を準備することができる	
		○	○	○		テーマに合ったテーブルコーディネートを制作することができる	
	○	○		○		テーマやドレスに合わせたブーケを提案し、必要な花材を出すことができる	
	○	○	○		テーマやドレスに合わせたブーケを制作することができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルの装美と演出						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め①					
	2	各担当毎のスケジュール・準備内容の話し合い					
	3	卓上装花デザイン決め、花材発注					
	4	卓上装花作成、練習					
	5	メイン装花デザイン決め、花材発注					
	6	メイン装花作成、練習					
	7	学内リハーサル					
	8	ブーケデザイン決め、花材発注					
	9	ブーケ、ブートニア作成					
	10	本番会場でのリハーサル					
	11	メイン、卓上、ブーケ、ブートニア下準備					
	12	メイン、卓上、ブーケ、ブートニア作成、リハーサル					
	13	模擬結婚式本番					
	14	模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業					
15	模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成						
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)授業態度(担当業務の完成度)及び出席率 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	○	○				70%
	授業態度・出席率			○	○		30%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	プランナー演習(専攻)							
科目名(英)								
単位数	6		時間数	90時間		担当者	中村先生	
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年							
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、プランナー専攻として全体テーマに基づいた結婚式の企画・プランニングを行う。披露宴内の演出・コーディネート・進行プログラム・料理サービス・音響照明・ペーパーアイテム・ブライダルアイテム全般の決定及び準備を行う。							
授業形式	講義:	○		演習:		実習:		
						実技:		
						※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				結婚式の進行プログラムの作成		
	○	○	○			結婚式の音響照明の決定と映像演出の作成		
	○	○	○			結婚式の料理サービスの指揮と会場全体の運営(キャプテン)ができる。		
	○	○				結婚式のテーマに合わせたコーディネート及び装飾品の企画提案。		
○	○	○			ブライダルアイテムの提案と作成(ペーパーアイテム)			
テキスト・教材 参考図書	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め①						
	2	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め②						
	3	各チーム毎のスケジュール・準備内容の話し合い						
	4	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告①						
	5	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告②						
	6	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告③						
	7	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告④						
	8	学内リハーサル①						
	9	学内リハーサル② 学内リハーサルの反省点の共有と内容修正						
	10	本番会場でのリハーサル①						
	11	本番会場でのリハーサル② 反省点の共有と内容修正						
	12	前日会場準備及びリハーサル・最終調整						
	13	模擬結婚式本番						
	14	模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業						
15	模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成							
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)授業態度(担当業務の完成度)及び出席率 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート提出	○	◎	◎			50%	
	授業態度・出席率				◎		50%	
履修上の注意								

科目名	海外ウェディング概論								
科目名(英)									
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年								
授業概要	海外ウェディングを知るために、ブライダル産業がさかんな地域の実例を調べて、オリジナルプランを作成する。 観光地を調べて、発表・共有する。								
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					ウェディングがさかんな地域を知る			
	○					現地のブライダルプランを研究し、特徴を把握する			
	○	○				オリジナルプランの作成			
	○	○				観光地研究、発表			
テキスト・教材 参考図書	プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	海外ウェディングが有名な地域-ハワイ							
	2	海外ウェディングが有名な地域-グアム							
	3	ウェディングプラン調べ①							
	4	ウェディングプラン調べ②							
	5	観光地研究①							
	6	観光地研究②							
	7	オリジナルプラン作成							
	8	発表							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)各回作成のノート提出 (2)発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	ノート提出	○	◎				50%		
	発表		○		◎		50%		
履修上の注意									

科目名	イラストレーター / フォトショップ						
科目名(英)	Illustrator/Photoshop						
単位数	2 単位	時間数	30	担当者	森 秀 樹		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダルウエディング科 2年						
授業概要	・ブライダルウエディングの現場で必要とされているイベント紹介チラシ、ポスター等のデザイン物をパソコンソフト(イラストレーター/フォトショップ)を使って制作できるスキルを身につける。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				パソコンのソフト(イラストレーターとフォトショップ)を使い、簡単なデザイン物が作れる。	
	○					伝える相手を思いやり、それを形(デザイン)に反映させることができる。	
			○			期限までに制作し、確実に提出ができる。(余力があれば、複数案提出する)	
テキスト・教材 参考図書	・なし。その都度必要に応じて、データやコピー物を配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	パソコンの取扱い。使用ソフト(イラレ、フォトショ)の説明。				・教科書を使用しないため、各自でメモをとること。	
	2	イラレ①-文字のみを使って、自己紹介ページを作る。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	3	イラレ②-文字のみを使って、自己紹介ページを作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	4	イラレ③-簡単に描ける図形の取扱い。拡大縮小、移動、複製等。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	5	イラレ④-簡単な図形と文字を組み合わせデザイン物を作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	6	フォトショ①-写真の初歩的な取扱い。明度、彩度の調整、回転等。				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	7	フォトショ②-写真の初歩的な取扱い。解像度及びイラレへの配置の仕方。クリッピングマスクを使い写真のトリミングを学ぶ。				・必要に応じて、各自メモをとること。 メモを読み返して復習しておくこと。	
	8	フォトショ③-スマホでスナップ撮影会。その後、パソコンへの取り込み。				・校舎外で撮影するため、行動時間を守ること。	
	9	イラレ⑤-シンプルな図形を加工して、装飾デザイン要素(花)をつくる。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	10	イラレ⑥-前回作った花の図形をメインに使い、催し物のチラシを作る。				・提出データ数及び提出時間を守ること。	
	11	(第8回で)自分で撮った撮影データを使って、デザイン物を作る。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	12	自分で撮った撮影データを使って、デザイン物を作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	13	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。1/3(最終課題)				・これまでのメモを読み返して復習しておくこと。	
	14	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。2/3				・これまでのメモを読み返して復習しておくこと。	
15	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。3/3→提出				・提出時間を厳守すること。		
評価方法	(1)小作品づくりを数回行う。(2)最終課題作品制作---後期の授業を通して学んだスキルを活かし、与えられたテーマに沿ったイベント案内チラシを制作する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作品制作		○	○	◎	◎	50%
	最終作品		○	○	◎	◎	50%
※その他は課題の提出数や状況のこと。							
履修上の注意	全ての課題作品の提出がなされない場合は評価の採点を行わないので、必ず全て提出すること。(企業研修や学校が認めた理由がある場合は考慮する。)						

科目名	サービス介助						
科目名(英)	Service assistance						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	玉置		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で全ての人々が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできごとや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び、高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、サポートできるようになる。	
			○			肢体不自由者の状態に応じた車椅子介助ができるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通して介助のしかたを工夫して提供できるようになる。	
	○					聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	2	肢体不自由者 ー 肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	3	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	4	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	5	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	6	肢体不自由者 ー 車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	7	高齢者介助 ー 高齢者体験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	8	高齢者介助 ー 高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	9	高齢者介助 ー 高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと	
	10	視覚障がい者 ー 視覚障がい者体験(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと	
	11	視覚障がい者 ー 視覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	12	視覚障がい者 ー 視覚障がい者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	13	聴覚障がい者 ー 聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	14	聴覚障がい者 ー 聴覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
15	総まとめ・レポート課題						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	スタイリスト演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	大楠先生		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年						
授業概要	一人一人の体型に合わせた「似合うファッション」をアドバイスできるようになる						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					骨格スタイルの分類を理解し、説明できる	
		○	○			スタイルに合わせた着こなし、アイテムが合わせられるようになる	
		○	○			自分に合った着こなしができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「似合う」とは？ファッションで重要となる3大要素					
	2	骨格スタイルの分類について					
	3	骨格スタイル分析方法					
	4	骨格スタイル分析練習					
	5	骨格スタイル別着こなしポイント					
	6	骨格スタイル別、アイテム&デザインの合わせ方					
	7	コラージュ作成					
	8	似合わないものプレゼン					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)コラージュ作成 (2)期末筆記試験 (3)出席率、授業態度 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	コラージュ作成	○	○	○			10%
	筆記試験		○				80%
	授業態度・出席率				○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ウエディングセレモニー論Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダルにおける職種毎の業務内容(打ち合わせ・手配・準備・当日)を学び、挙式や披露宴のコンセプトの作成法を身に付け、お客様に合ったブライダルアイテムの選定が出来る力を付ける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル業務(新規～成約)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(手配業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(当日業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				挙式・披露宴でのコンセプトシートを作成しアイテムの提案ができる。	
○	○				ブライダルアイテム(料理・衣裳・演出・装花)を知り説明する事ができる。		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	LESSON1～3 1年次の復習			1年次の復習をしておくこと		
	2	LESSON4 コーディネーター業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	LESSON4 コーディネーター業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	LESSON5 打合せ業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	LESSON6 コンセプトシートについて①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	LESSON6 コンセプトシートについて②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	LESSON6 コンセプトシートについて③			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	LESSON6 コンセプトシートについて④			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	LESSON6 コンセプトシートについて⑤			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	LESSON6 コンセプトシートについて⑥			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	LESSON6 コンセプトシートについて⑦			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	LESSON7 手配業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	LESSON7 手配業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	LESSON8 当日業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	まとめ・最近のブライダル業界について						
評価方法	(1)授業態度・出席率 (2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	宿題・レポート		○		◎		10%
	授業態度・出席率				◎		10%
履修上の注意							

科目名	ドレス演習(専攻)							
科目名(英)								
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	木村 匡志	
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年							
授業概要	2年生後期に開催される模擬結婚式に向けて、ドレス専攻として全体テーマに基づいた衣裳の選定やヘアアレンジ、メイクの練習を実施する。新郎新婦モデル・衣裳・衣裳小物の決定及び準備を行う。							
授業形式	講義:		演習:	○	実習:		実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
						○ 模擬結婚式に相応しい新郎新婦モデルの選定ができる		
						○ 全体テーマに合わせた新郎新婦の衣裳及び衣裳小物の選定ができる		
		○	○			全体テーマに合わせたヘアアレンジを考案し、新婦モデルのヘアセットができるようになる		
		○	○			全体テーマに合わせたメイクを考察し、新婦モデルのメイクセットができるようになる		
	○	○			全体テーマに合わせたネイルを考察し、新婦モデルのネイルを作成することができる			
テキスト・教材 参考図書	なし							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め①						
	2	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め②						
	3	各チーム毎のスケジュール・準備内容の話し合い						
	4	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告①						
	5	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告②						
	6	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告③						
	7	各チーム毎に準備及び作業、各担当より進捗状況の報告④						
	8	学内リハーサル①						
	9	学内リハーサル② 学内リハーサルの反省点の共有と内容修正						
	10	本番会場でのリハーサル①						
	11	本番会場でのリハーサル② 反省点の共有と内容修正						
	12	前日会場準備及びリハーサル・最終調整						
	13	模擬結婚式本番						
	14	模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業						
15	模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成							
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)授業態度(担当業務の完成度)及び出席率以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート提出		○				70%	
	授業態度・出席率			○	○		30%	
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。							

科目名	パーソナルカラーB						
科目名(英)	Personal Color						
単位数	2	時間数	30	担当者	柴田知子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	衣食住の様々なシーンでの色の重要性を知り、ビジネスの場でパーソナルカラーを活かしながら、モノだけではなくコミュニケーションツールとして活用する。色の知識を深め、センスを磨き応用力を身につけパーソナルカラリスト検定習得を目指す。						
授業形式	講義	△	演習:	○	実習:	実技: △ ※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラリストの特徴を理解し、人に合う色やファッション、ヘア・メイクを提案出来る。	
		○				色の見える仕組みや歴史を理解し、色を分類する力を養う。	
		○				配色効果を学び、色の選択が出来る。	
		○				ブライダルと色の関連性を学び、トータルの色の実用性を身につける。	
				○		人の特徴に合わせた色のプレゼンテーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定公式テキスト・カラーカード・パーソナルカラリスト問題集3・2級 COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	色彩と文化1～日本の色の歴史や生活の中での色を知る				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	2	色彩と文化2～色の種類やその特徴				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	3	色彩理論～色のしくみ、				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	4	色彩理論～CUS表色系				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	5	色彩理論～色の三属性と対比現象				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	6	色彩理論～CUS配色効果				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	7	色彩とファッション				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	8	パーソナルカラー				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	9	パーソナルカラー3級検定まとめ				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	10	色彩と文化～染料				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	11	色彩と文化～ヨーロッパの色の歴史				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	12	色彩理論～混色				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	13	色彩理論～照明と色				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	14	色彩理論～色の知覚効果				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	15	基本的な配色テクニック				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)プリント、課題を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				90%
	宿題・レポート				○		5%
	発表・作品				○		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダルフラワーⅡ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	冠婚葬祭セレモニー会社においてウエディングフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年						
授業概要	1年時のフラワー演習、2年前期のテーブルコーディネートより上級のテクニックを学び、ブーケ作成、クリスマスアレンジや正月飾りなど、行事に合ったアレンジができるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ドレスに合わせたブーケをセレクトし、作成することができる	
		○				テーマに沿った会場装花、ブーケを作成し、写真撮影ができる	
			○			基本のラッピングができるようになる	
		○	○			自ら花材を選んでブーケを作成することができる	
	○	○			クリスマスや正月に合わせた行事の花のアレンジができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバスの説明・ドレスとブーケの相性復習				ブライダル装美と演出のブーケ、ドレスのデザインのところを読み返す	
	2	ドレス、モデル、ブーケ決め(花出し)					
	3	会場コーディネート、メイン装花デザイン決め、発注書作成					
	4	ブートニア、ヘアコサージュ作成(生花にて)					
	5	モデルに合わせてメイン装花、ブーケ作成、ヘアコサージュ作成					
	6	各グループモデル撮影会					
	7	ラッピング①					
	8	ラッピング②					
	9	ラッピング③					
	10	ブーケ花材買出し					
	11	ブーケ作成①					
	12	ブーケ作成②					
	13	クリスマスアレンジ作成					
	14	お正月の花アレンジ作成					
15	チャリティー用お正月飾り作成						
評価方法	(1)会場装花、ブーケ、モデル写真撮影企画書提出 (2)会場装花、ブーケ作品発表 (3)ラッピング作品評価 (4)ブーケ作品評価(5)クリスマス作品評価(6)お正月飾り作品評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	企画書提出	○	○		○		10%
	発表・作品		○	◎	○		90%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	国家試験対策						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	中村先生		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	ブライダル・ウエディング科が受験する国家試験(ブライダルコーディネーター技能検定3級)の筆記問題及び視聴覚(映像)問題の対策を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				検定の過去問(筆記問題)対策を行い、筆記問題の正答率を高める。	
	○	○				検定の過去問(映像問題)対策を行い、映像問題の正答率を高める。	
テキスト・教材 参考図書	BIA ABC検定過去問(2018~2008) BIA ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>、BIAブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	国家資格試験の概要説明(筆記問題・視聴覚問題)					
	2	過去問 ABC検定2018 (筆記問題対策)① 回答と説明					
	3	過去問 ABC検定2017 (筆記問題対策)② 回答と説明					
	4	過去問 ABC検定2016 (筆記問題対策)③ 回答と説明					
	5	過去問 ABC検定2015 (筆記問題対策)④ 回答と説明					
	6	過去問 ABC検定2014 (筆記問題対策)⑤ 回答と説明					
	7	過去問 ABC検定2013 (筆記問題対策)⑥ 回答と説明					
	8	過去問 ABC検定2012 (筆記問題対策)⑦ 回答と説明					
	9	過去問 ABC検定2011 (筆記問題対策)⑧ 回答と説明					
	10	過去問 ABC検定2010 (筆記問題対策)⑨ 回答と説明					
	11	過去問 ABC検定2009 (筆記問題対策)⑩ 回答と説明					
	12	過去問 ABC検定2008 (筆記問題対策)⑪ 回答と説明					
	13	最近のブライダル業界を考える(時事問題対策)					
	14	視聴覚問題対策①					
15	視聴覚問題対策②						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度及び出席率 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	授業態度・出席率				◎		20%
履修上の注意							

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30時間		担当者	中村
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	就職活動に向けて、面接やエントリーシートの書き方の対策を行う。社会人としてブライダル業界で活躍できる人財になる為に必要な要素を知る。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技: ○ ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					就職内定	
	○					面接にて実力が発揮できるようになる。	
	○	○				社会の事を知り就職後も生かせるよになる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック ブライダルのお仕事 (ウエディングジョブ発行)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	6	裁判について学ぶ、就職指導					
	7	裁判ウォッチング①					
	8	裁判ウォッチング②					
	9	年金について学ぶ、就活指導					
	10	就職後のお金の運用について学ぶ、就活指導					
	11	学外オリエンテーション(スポーツ大会)①					
	12	学外オリエンテーション(スポーツ大会)②					
	13	博多の街探索(歴史や観光地について)①					
	14	博多の街探索(歴史や観光地について)②					
15	社会人マナー研修						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		◎				50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意							

科目名	手話						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平嶋
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	手話入門編 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って聴覚がい者に伝え合うことを学ぶ 手話の基本を身につける(指文字、挨拶、数字等)						
授業形式	講義: △		演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標+E1E10:AE24	
	○					聴覚障がいの基礎知識を覚える	
	○					聴覚障がい者の生活を知ること、どのようなサポートが必要かを考え行動することができる	
		○				手話入門(実演)	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	名前の紹介					
	2	家族の紹介					
	3	数を使って					
	4	趣味について					
	5	仕事について					
	6	住所の紹介					
	7	自己紹介					
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)小テスト5回実施する (2)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)3回	◎	○				60%
	小テスト(実技)2回		◎				30%
	レポート	○			○		10%
履修上の注意							

科目名	茶道						
科目名(英)	Tea Ceremony						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	真武 美知子
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	茶道を通して、和室での作法、茶道の基本動作(点前・お客・お運び)を習得することで、日本文化の良さを理解し“おもてなし”の心を身につける。茶道の一連の流れの中で、目配り・気配り・心配り・が出来た人になり、仕事に役立つよう自分自身を磨く。薄茶点前が出来ることを目指す。						
授業形式	講義:		演習:	△	実習:	実技:	○ ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			△		茶道具を覚える。茶菓子の種類を学ぶ	
	△		○	△		和室での所作習得。襖の開閉、茶室への入り方、畳の歩き方、座り方を習得	
	△		○	△		盆点前。茶筌でお茶を点てる、お茶をいただく、お茶を運ぶ、実習し習得	
	△		○	△		割り稽古追加(服紗さばき・茶入・茶杓の拭き方・茶筌通し・茶巾の扱い)習得	
△		○	△		炉による薄茶点前習得		
テキスト・教材 参考図書	道具名称 ・ お菓子 (コピーを配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介・シラバス説明・和室での基本動作実習。お稽古セット、茶道具・茶菓子・水屋の説明。				茶道具を覚える(プリントあり) 正座(畳に座ること)に慣れる。	
	2	点出し(点前・お運び・客)お茶の点て方・飲み方・お菓子				抹茶の量、点て方を覚える 服紗のたたみ方・しまい方	
	3	点出し、割り稽古(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)	
	4	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方) 追加(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)	
	5	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶筌通し)				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方) 追加(茶筌通し)	
	6	略点前(お盆点て) 挨拶の仕方と割り稽古復習				割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方・茶筌通し)	
	7	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)				割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。	
	8	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)				割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。	
	9	炉(薄茶点前) 風炉と炉との違い説明(季節・道具)				柄杓・蓋置の扱いを覚える。	
	10	炉(薄茶点前) 建水を運び出した所から				建水・蓋置・柄杓の位置を覚える。	
	11	炉(薄茶点前) 客の作法・お運び・水屋準備を再確認				割り稽古の復習、スムーズに出来るようにする。	
	12	炉(薄茶点前) 点前の順序・流れを覚える				点前の順序・流れを覚える。	
	13	炉(薄茶点前) (総仕上げ) 各役割を確実にを行う				点前の順序・流れを覚える。	
	14	評価 炉(薄茶点前) 2名ずつ					
15	評価 炉(薄茶点前) 2名ずつ						
評価方法	(1)実技試験 (2)お手前取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			◎			70%
	お手前取り組み・授業中態度			○	◎		30%
履修上の注意	ソックスを履く。女性はスカート着用、髪を束ねる。服紗をつけるのにベルトがある物を着用又は紐を持参する。当番を決める(お菓子・準備・後片付け) 5分前に授業終了し掃除・後片付けをする。						

科目名	Windows演習								
科目名(英)	Windows								
単位数	2単位	時間数	30	担当者	浦川				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年								
授業概要	ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書を、Word・Excel・PPを活用して作成する。 作成時に制限時間を設けることで、ある一定の時間で書類作成ができるようにする。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
			○			10分間の入力スピードを400字以上にする			
		○				ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる			
		○	○			Word・Excel・PPで必要な操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する			
テキスト・教材 参考図書	・ビジネス文書作成見本(プリント配布)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	スピード入力／ ビジネス文書(社内文書・社外文書)				入力練習			
	2	スピード入力／ ビジネス文書(表作成)				入力練習			
	3	スピード入力／ 複雑な表(Word編)				入力練習			
	4	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習			
	5	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習			
	6	スピード入力／ Excel・Word連携①				入力練習			
	7	スピード入力／ Excel・Word連携②				入力練習			
	8	スピード入力／ Word応用(段組み)				入力練習			
	9	スピード入力／ Word応用(旅程表)				入力練習			
	10	スピード入力／Excel応用(カレンダー管理・シリアル値)				入力練習			
	11	スピード入力／Word応用(申込書)				入力練習			
	12	スピード入力／ Excel応用(グラフ活用)				入力練習			
	13	スピード入力／ Excel応用(見積書作成)				入力練習			
	14	スピード入力／ PP(図解とマスター)				入力練習			
15	スピード入力／ 最終課題				入力練習				
評価方法	・課題の印刷と提出(15回)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	スピード入力			◎			10%		
	課題提出(15回)		○	◎			90%		
履修上の注意	作成したデータは毎回USBに保存をする。								